

すまいる

第3号
 発行日
 令和7年6月10日
 発行責任者
 前田 潤悦
 編集者
 椿 直哉
 小松崎 学
 寛 直子

バーベキューイベント開催

5月23日(金)、待ちに待ったバーベキューイベントが開催されました。数日前から「お肉たくさん食べたいな」「ゲームもあるかな?」と、利用者の皆さんのうれしそうな声があちこちから聞こえ、私たち職員も当日が待ち遠しく感じていました。

イベント当日は晴れ渡る空の下、まずは公共事業科の利用者さんたちが中心となって、バーベキュー会場の設営をがんばってくれました。草刈りもきれいに終えて、青空と緑が広がるとても気持ちのよい空間が完成しました。

準備が整うと、いよいよバーベキュースタート。お肉を焼く作業になると、利用者さんが次々と協力してくださり、中には「初めてトング持ったよ」という方もいて、普段なかなか体験できない「焼き手」を楽しむ様子が印象的でした。香ばしいお肉の香りが漂いはじめると、自然と人が集まり始め、皆さん目をキラキラさせて、じーっと焼ける様子を見つめていました。まず登

場したのはフランクフルト。焼きたてが並びやいなや、あっという間に完売してしまいました。

続いて登場は、メインのお肉。大きな一枚をそのまま口いっぱい頬張る方もいれば、ゆっくり味わう方もいて、どの方もとても幸せそうな表情を浮かべていました。「おかわりください」の声があちこちから上がり、職員たちも大忙しのうれしい悲鳴です。飲み物も、冷たいジュースやお茶の中から好きなものを自分で選ぶことができ、「どれにしようかな」と悩みながらも楽しそうに取りに来ていました。

おなかいっぱいになった頃、「やっぱりデザートは別腹だね」という声とともに登場したのはシュークリーム。口のまわりにクリームをつけながら「おいしい」と笑う姿に、こちらまで自然と笑顔になりました。笑い声とおいしい香りに包まれた、素敵な春の一日。たくさん食べて、たくさん笑って、利用者さんも職員も一緒に心から楽しめたバーベキューとなりました。(寛)

沢山の笑顔と真剣なまなざし ストラックアウト大会

バーベキューでお腹も心も満たされた午後は、からだを動かしてさらに楽しいひと

ときを過ごしました。

今回ご用意したレクリエーションは、みんな大好き「ストラックアウト」ルールは簡単。的をめがけてボールを投げ、見事当たるとお菓子がもらえるというものです。が、いざ始めてみると、多くの方が「お菓子をもらいたい」という気持ちよりも、「目の前の的に当てたい」というチャレンジ精神にあふれていて、真剣な眼差しでボールを握る姿がみられました。

「よし、次こそ当てるぞー!」「もう少し上かな?」と、声をかけあいながら何度も挑戦する様子に、周囲からは自然と拍手や応援の声があげられます。また、的を倒す役割だけでなく、玉拾いや的のセットを率先してお手伝いしてくれる方の姿も見られ、「次は僕が」と、自然と役割が生まれていました。誰かが動けば、自然と誰かがそれに応える…そんなやさしい空気に包まれていました。的に当たったときの「やったー」という声と満面の笑顔、お菓子を手にしたときの嬉しそうな表情は、見ているだけでこちらまで嬉しい気持ちになります。もちろん、的に当たらなかった方も、「もう一回チャレンジしたい」と再挑戦を楽しんでおられ、投げるたびに笑い声が響き、応援する皆さんも一緒になって和やかな雰囲気広がっていました。何気ない一つひとつのやりとりが、温かく心に残る時間となりました。

「楽しかったね」「またやりたいね」という声も多く、また次の機会が楽しみになる、そんな素敵なお時間でした。(寛)



環境整備委員 講習会

梅雨入り間近の季節、これから草が元氣を取り戻していく中、菜の花会では草刈り機が大活躍します。

環境整備委員を中心に、公共事業科の利用者さん2名も参加して草刈り機のマニュアル再確認や管理方法の統一など與那嶺本部長から説明を受けました。参加した職員や公共事業科の利用者さんも真剣な表情で参加されていました。

途中、「草刈り機の刃はどっち回りか」との質問に利用者さんが間違え入らずに「時計回り」と職員より先に応える様子が、日ごろの取り組みが感じられ、「さすが」の一言でした。

(椿)



作業科紹介

【簡易加工科】

「みんなで工夫、みんなで成長 簡易加工科のご紹介」 新年度を迎えたこの春、「簡易加工科」では、より分かりやすく、より参加しやすい作業環境を目指して、作業室のレイアウトを見直しました。作業を受け取る机、完成したものを提出する机、そして職員が検品して、完成品を整理しておくための机を、それぞれ明確に分けて設置。これにより、利用者さんが今どこで何をやるのかを視覚的にすぐ理解できるようになりました。文字の色も変えているので、読みづらい方は色を確認してできるようになりました。環境を変えてから、利用者さんが自分の意思で「今日はこの作業をやってみよう」と作業を選び、自分のペースで取り組み、終わったら自ら完成品の置き場へ運ぶという、一連の流れが自然と身につけはじめています。

“見てわかる” “自分で選べる” “自分で完結できる” この流れは、利用者さんの自立的な行動を促すだけでなく、「できた」という達成感を生み出し、作業への意欲をより一層引き出しています。簡易加工科では、利用者さん一人ひとりの得意なこと、苦手なことを丁寧に汲み取りながら、その方に合った作業を提供しています。細かい作業が得意な方にははさみを使った部材のカットを、大きな動作が得意な方には運搬など、それぞれが活躍できる場面がたくさんあります。また、利用者さん同士が自然と声をかけあい、「手伝います」といった温かいやりとりが日々生まれています。こうし

たチームワークも簡易加工科の大きな魅力のひとつです。作業を通して、集中力や手先の訓練だけでなく、「コミュニケーションで楽しく、これからも、利用者さんの「やってみたい」「できた」「たのしい」の声を大切にしながら、サポートを続けてまいります。

(藤巻)



6月の予定

21日(土) 開所日

育成会環境整備

28日(土) 3 育成会みんなの合宿

場所 アーランドティ

7月の予定

9日(水) 胸部レントゲン

21日(月) 開所日

育成会環境整備

場所 ネクスト桜田小

編集後記

雨の日や、暑い日など天候が目まぐるしく変わって体調にお変わりはありませんでしょうか。事業所では毎日の散歩や7月の七夕用の笹を取りに行くなど、元気に野山を散策し日々季節の移り変わりを感じています。

今月号では、先日開催したバーベキューイベントの様子、加工科紹介、環境整備委員講習と利用者さんのたくさんの笑顔や頑張りが詰まった内容をお届けしました。バーベキューでは準備から片付けまで積極的に参加される姿に頼もしさを感じた場面も多くありました。

いよいよ梅雨入りも間近になり体調を崩しやすい時期でもございます。しっかりと食べてしっかり休んで、お体ご自愛ください。

(小松崎)